美しき侵略者　～ソウシチョウ～

　箱根の山や川沿いの林でよく響く複雑な鳥の声を耳にすることがあります。その声の主はソウシチョウかもしれません。
　ソウシチョウは体長は約15cmと、スズメくらいの大きさで、胸のオレンジ色と赤いくちばしが特徴です。また、目の回りに白い縁取りがあるためか、目がクリっとしてかわいらしい印象です。

　竹藪の中など、よく茂った環境を好むので、声は聞こえても姿をはっきりと見ることはできないこともあります。
　しかし、今の時期のソウシチョウは数羽の群れで行動していることが多いので、声が聞こえた時には、しばらく待っているとソウシチョウがたくさん現れることもあります。

ところが、このソウシチョウは本来日本に生息していない野鳥なのです。同じく箱根でよく見られるガビチョウと共に、日本の侵略的外来種ワースト100にも選定されています。

今のところ、日本の在来種に対する影響が具体的にわかっているわけではありませんが、餌や生息場所の競合が心配されています。

箱根では特にソウシチョウが増加しているようです。姿や声が美しくても、日本の野外にいてはいけない鳥です。このまま数を増やすのは喜ばしいことではありませんが、どこにでもいる鳥ではないので、箱根でソウシチョウを見るのも貴重な体験かもしれません。

ヤマガラが激しい警戒音を発していましたが、警戒されていたのは私かソウシチョウか…

作成　2015年9月25日　箱根自然環境事務所　吉田